

電源のオン・オフと ロックの解除

電源の状態には、オン、オフ、スリープモードの3種類があります。3つのモードは、すべて電源キー／指紋センサーで切り替えが可能です。一定時間操作しないと、自動でスリープモードに移行します。



1 ロックを解除する

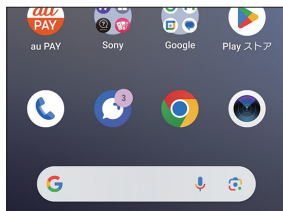
- ① スリープモードで電源キー／指紋センサーを押します。



- ② ロック画面が表示されるので、画面を上方向にスワイプ (P.13参照) します。



- ③ ロックが解除され、ホーム画面が表示されます。再度、電源キー／指紋センサーを押すと、スリープモードになります。



MEMO アンビエント表示 Xperia 1 V

Xperia 1 Vには、スリープモードでの画面に時刻などの情報を表示する「アンビエント表示」機能があります (Sec.58参照)。ロック画面と似ているので紛らわしいのですが、スリープモードのため手順②の操作を行ってもロックは解除されません。電源キー／指紋センサーを押してロック画面を表示してから手順②の操作を行ってください。

電源を切る

- ① 電源が入っている状態で、音量キーの上と電源キー／指紋センサーを同時に押します。



- ② メニューが表示されるので、[電源を切る] をタップすると、完全に電源がオフになります。



- ③ 電源をオンにするには、電源キー／指紋センサーを本機が起動するまで長押しします。



MEMO ロック画面からの カメラの起動

ロック画面から直接カメラを起動するには、ロック画面で📷をロングタッチします。



音やマナーモードを設定する

メールの通知音や電話の着信音は、「設定」アプリから変更することができます。また、マナーモードの設定も、音量キーを押して、ワンタップで行うことができます。



通知音や着信音を変更する

① 「設定」アプリを起動して、[音設定] をタップします。



② 「音設定」画面が表示されるので、[着信音-SIM1] [着信音-SIM2] または [通知音] をタップします。ここでは [着信音-SIM1] をタップします。



③ 変更したい着信音をタップすると、着信音を確認することができます。[OK] をタップすると、着信音が変更されます。



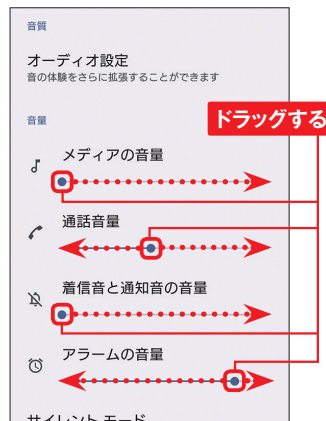
MEMO 操作音などを設定する

手順②の画面で [詳細設定] をタップすると、「ダイヤルパッドの操作音」や「画面ロック音」などのシステム操作時の音、キーボード操作の音などのキータップ時の音の有効・無効を切り替えることができます。

音量を設定する

● 「設定」アプリから設定する

① P.58手順②の画面で各項目のスライダーをドラッグして音量を調節することができます。

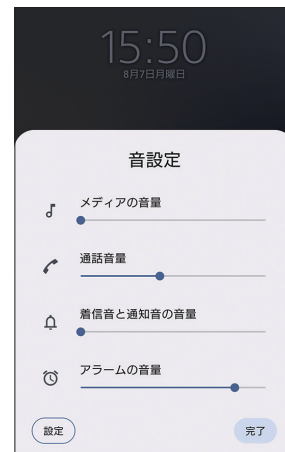


● 音量キーから設定する

① ロックを解除した状態で、音量キーを押すと、メディアの音量設定画面が表示されるので、スライダーをドラッグして、音量を設定します。…をタップします。

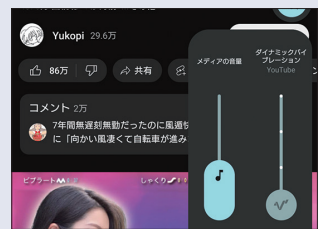


② ほかの項目が表示され、ここから音量を設定することができます。



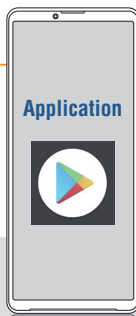
MEMO ダイナミックバイブレーション Xperia 1 V

Xperia 1 Vの場合、「YouTube」などの対応アプリで再生中に音量キーを押すと、音の大きさに応じて振動する「ダイナミックバイブレーション」機能を利用できます。振動の設定は、アプリごとに保存されます。



有料アプリを購入する

有料アプリを購入する場合、キャリアの決済サービスやクレジットカードなどの支払い方法を選べます。ここでは電話料金と合算して支払える「au払い」で購入する方法を解説します。



au払いで有料アプリを購入する

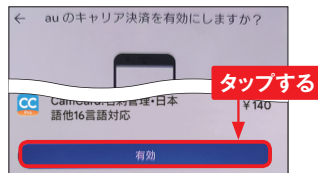
- 1 有料アプリの詳細画面を表示し、アプリの価格が表示されたボタンをタップします。



- 2 支払い方法の選択画面が表示されます。ここでは「au/UQ/povo払いを追加」をタップします。



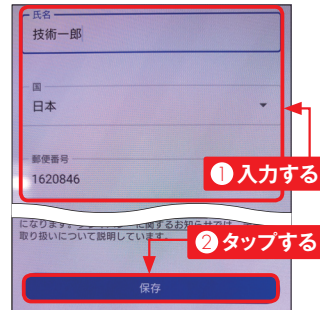
- 3 「有効」をタップします。



MEMO Google Play ギフトカード

コンビニなどで販売されている「Google Playギフトカード」を利用すると、プリペイド方式でアプリを購入できます。クレジットカードを登録したくないときに使うと便利です。利用するには、手順③で「コードの利用」をタップするか、事前にP.91左側の手順①の画面で「お支払いと定期購入」→「ギフトコードの利用」をタップし、カードに記載されているコードを入力して「コードを利用」をタップします。

- 4 「氏名」欄と「郵便番号」欄に入力して「保存」をタップします。



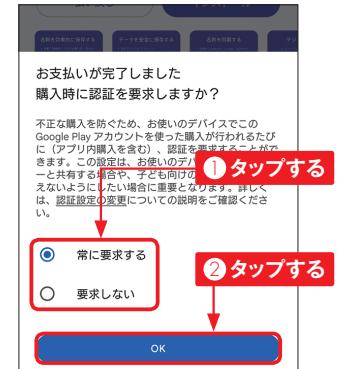
- 5 「購入」をタップします。



- 6 Sec.12で設定したGoogleアカウントのパスワードを入力し、「確認」をタップします。



- 7 認証についての画面が表示されたら、「常に要求する」もしくは「要求しない」をタップします。「OK」→「OK」をタップすると、アプリのダウンロード、インストールが始まります。



MEMO 購入したアプリを払い戻す

有料アプリは、購入してから2時間以内であれば、Google Playから返品して全額払い戻しを受けることができます。P.91右側の手順①～②を参考に購入したアプリの詳細画面を表示し、「払い戻し」をタップして、次の画面で「払い戻しをリクエスト」をタップします。なお、払い戻しできるのは、1つのアプリにつき1回だけです。



Googleマップを 使いこなす

Googleマップを利用すれば、自分の今いる場所や、現在地から目的地までの道順を地図上に表示できます。なお、Googleマップのバージョンによっては、本書と表示内容が異なる場合があります。



「マップ」アプリを利用する準備を行う

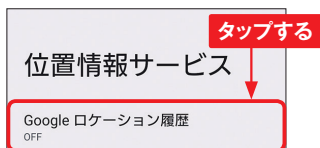
- ① P.18を参考に「設定」アプリを起動して、[位置情報] をタップします。



- ② 「位置情報の使用」が の場合はタップして にします。位置情報についての同意画面が表示されたら、[同意する] をタップします。



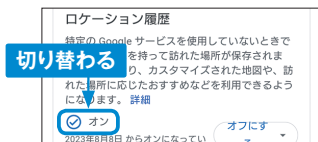
- ③ [位置情報サービス] → [Google ロケーション履歴] の順にタップします。




- ④ 「ロケーション履歴」が「オフ」の場合は [オンにする] をタップして、[オンにする] → [OK] をタップします。

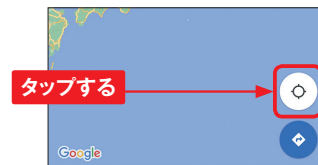


- ⑤ 表示が「オン」に切り替わったら、「マップ」アプリを使用する準備は完了です。



現在地を表示する

- ① ホーム画面で [Google] フォルダをタップして、[マップ] をタップします。「マップ」アプリが起動したら  をタップします。




- ② [正確] か [おおよそ] をタップして (ここでは [正確])、[アプリの使用時のみ] をタップします。これで「マップ」アプリが使えるようになります。



- ③ 地図の拡大はピンチアウト、縮小はピンチインで行います。スライドすると表示位置を移動できます。

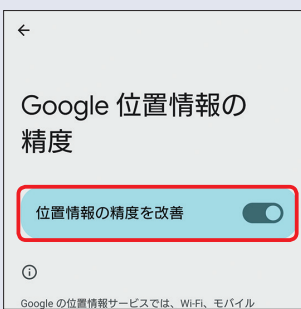


- ④  をタップすると、現在地が表示されます。



MEMO 位置情報の精度を変更

P.94手順③の画面で [Google 位置情報の精度] をタップすると、「位置情報の精度を改善」で、位置情報の精度を変更ができます。 にすると、収集された位置情報を活用することで、位置情報の精度を改善することができます。



auスマートパスプレミアムで お得なクーポンを利用する

auスマートパスプレミアムでは、お得なクーポンを入手することができます。クーポンは、全国のコンビニや映画館、ファストフード店など、さまざまな場所で利用できます。



5 クーポンを探して発行する

- 1 アプリ画面で [auスマートパス] をタップします。



- 2 [クーポン] をタップします。



- 3 クーポンが一覧表示されます。検索ボックスの下の部分を左右にスライドし、ジャンル（ここでは [グルメ]）をタップします。



MEMO サービスや店舗から探す

ジャンルの下の部分を左右にスライドし、サービスや店舗のロゴをタップすると、そのサービスや店舗で使えるクーポンを表示できます。



- 4 「グルメ」ジャンルのクーポンが一覧表示されます。画面を上下にスライドし、欲しいクーポンをタップします。



- 5 クーポンの詳細が表示されます。使用条件などを確認し、[クーポンを使用する] をタップします。



- 6 [発行する] をタップすると、クーポンが発行されます。



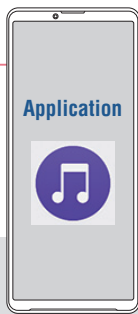
MEMO お気に入りに追加する

手順⑤の画面で [お気に入りに追加する] をタップすると、クーポンをお気に入りに追加できます。クーポンを後で利用したい場合は、お気に入りに追加しておくと便利です。



本体内の音楽を聴く

本体内に転送した音楽ファイル (Sec.42参照) は「ミュージック」アプリで再生することができます。ここでは、「ミュージック」アプリでの再生方法を紹介します。



音楽ファイルを再生する

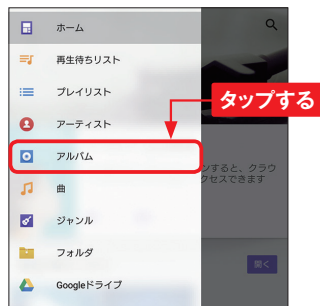
- 1** アプリ一覧画面で [Sony] フォルダをタップして、[ミュージック] をタップします。初回起動時は、[許可] をタップします。



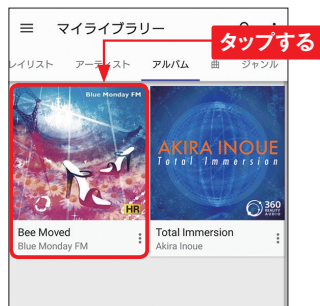
- 2** ホーム画面が表示されます。画面左上の☰をタップします。



- 3** メニューが表示されるので、ここでは [アルバム] をタップします。



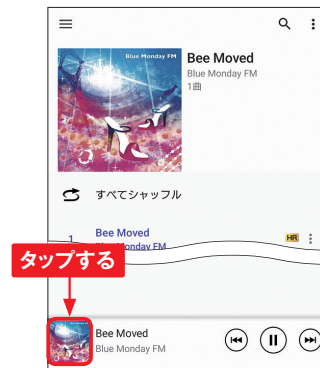
- 4** 端末に保存されている楽曲がアルバムごとに表示されます。再生したいアルバムをタップします。



- 5** アルバム内の楽曲が表示されます。ハイレゾ音源 (P.128参照) の場合は、曲名の右に「HR」と表示されています。再生したい楽曲をタップします。



- 6** 楽曲が再生され、画面下部にコントローラーが表示されます。サムネイル画像をタップすると、ミュージックプレイヤー画面が表示されます。



ミュージックプレイヤー画面の見方

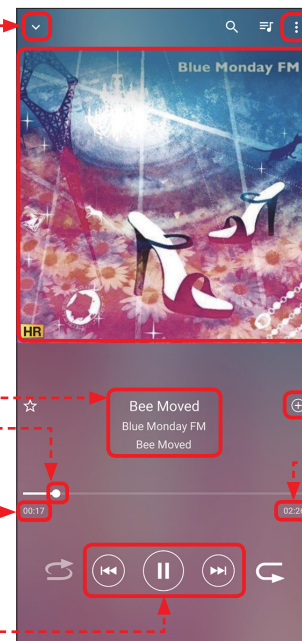
タップすると、手順⑥の画面を表示します。

楽曲名、アーティスト名が表示されます。タップすると、次に再生する楽曲が一覧で表示されます。

左右にドラッグすると、楽曲の再生位置を調整できます。

楽曲の経過時間が表示されます。

各ボタンをタップして、楽曲の再生操作を行えます。



楽曲情報の表示などができます。

アルバムアートワークがあればジャケットが表示されます。左右にスワイプすると、次曲/前曲を再生できます。

プレイリストに追加できます。

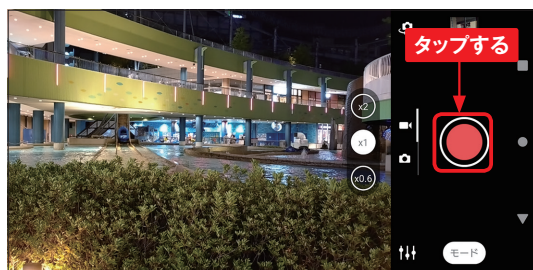
楽曲の全体時間が表示されます。

動画を撮影する

- ① 「カメラ」アプリを起動し、画面を下方向にスワイプして「ビデオ」に切り替えます。



- ② 赤丸をタップすると、動画の撮影がはじまります。



- ③ 動画の録画中は画面左下に録画時間が表示されます。赤丸をタップすると、撮影が終了します。



MEMO 動画撮影中に写真を撮るには

動画撮影中にカメラアイコンをタップすると、写真を撮影することができます。写真を撮影してもシャッター音は鳴らないので、動画に音が入り込む心配はありません。

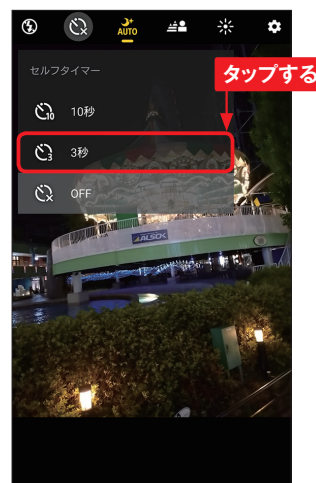


セルフタイマーで撮影する

- ① P.124を参考に「カメラ」アプリを起動し、画面上部のセルフタイマーアイコンをタップして、セルフタイマーの設定メニューを開きます。



- ② セルフタイマーの秒数（ここでは[3秒]）をタップします。



- ③ セルフタイマーが設定されました。



- ④ シャッターボタンのアイコンがタイマーの形に変わります。タップすると、3秒後に撮影が行われます。



写真や動画を閲覧する

撮影した写真や動画は、「フォト」アプリで閲覧することができます。「フォト」アプリは、閲覧だけでなく、自動的にクラウドストレージに写真をバックアップする機能も持っています。



「フォト」アプリで写真や動画を閲覧する

- 1** ホーム画面で、「フォト」をタップします。



- 2** バックアップ (P.143参照) をオンにするか訊かれますが、ここでは「バックアップしない」をタップします。



- 3** 本体のカメラで撮影した写真や動画が表示されます。動画には時間が表示されています。閲覧したい写真をタップします。



- 4** 写真が表示されます。拡大したい場合は、写真をダブルタップします。また、タップすることで、メニューの表示／非表示を切り替えることができます。



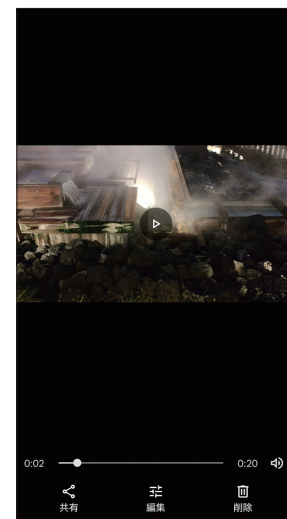
- 5** 写真が拡大されました。P.140手順③の画面に戻るときは、 をタップします。



- 6** P.140手順③で動画をタップすると、動画が再生されます。再生を止めたいときなどは、動画をタップします。



- 7** メニューが表示され、動画の再生を一時停止したり、再生位置を変更したりすることができます。



MEMO パソコンからコピーした写真の閲覧

Sec.42の方法でコピーした写真は、P.140手順③の画面右下にある「ライブラリ」をタップして、コピーしたフォルダ名をタップすると閲覧できます。また、スクリーンショット (Sec.63参照) もここで閲覧できます。



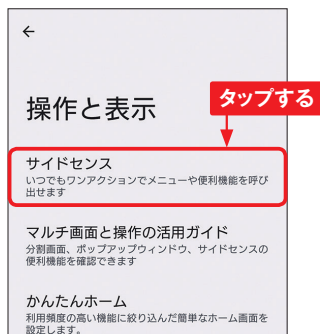
サイドセンスで操作を快適にする

Xperia 1 V / 10 Vには、「サイドセンス」という機能があります。画面右端にある「サイドセンスバー」をダブルタップしてメニューを表示したり、スライドしてバック操作を行ったりすることが可能です。

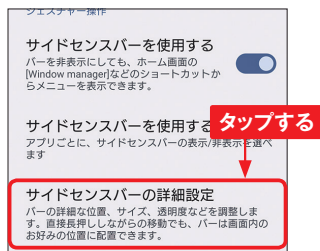


サイドセンスバーの位置などを設定する

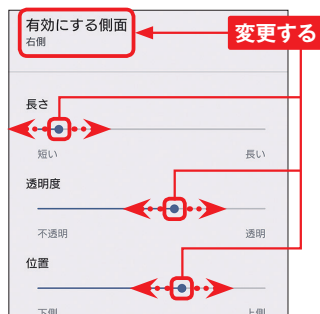
- ① アプリ画面で [設定] → [操作と表示] → [サイドセンス] の順にタップします。



- ② [サイドセンスバーを使用する] が [オン] になっていることを確認し、[サイドセンスバーの詳細設定] をタップします。



- ③ サイドセンスバーを左右どちらに置かや、上下の位置、長さ、透明度を、片手での持ち方に合わせて変更します。



MEMO サイドセンスの設定

手順②の画面で [サイドセンスバーを使用するアプリ]、[サイドセンスメニューに表示するアプリ] の設定や、アプリごとにサイドセンスの有効・無効を設定できます。ゲームアプリでは無効にしておくと、誤動作を避けることができます。

サイドセンスメニューを利用する

- ① サイドセンスバーをダブルタップします。初回は [始める] をタップします。



- ② サイドセンスメニューが表示されます。サイドセンスメニューが表示されます。中段のアプリアイコンをタップすると、そのアプリをポップアップウィンドウ (Sec.08参照) で開くことができます。[もっと見る] をタップします。



- ③ インストール済みのアプリが一覧表示されます。上下にスライドするとアプリ一覧の表示を切り替えることができます。



MEMO サイドセンスのそのほかの機能

手順②のサイドセンスメニューでは、通知パネルの表示や片手モード (Sec.66参照) の起動が可能です。それ以外にも、サイドセンスバーを上方向にスライドすると「21:9マルチウィンドウメニュー」が表示され、下方向にスライドするとバック操作 (◀ キーと同じ操作) になります。これらの操作は、P.160手順②の画面の [ジェスチャーに割り当てる機能] で変更できます。

ブルーライトを カットする

Xperia 1 V / 10 Vには、ブルーライトを軽減できる「ナイトライト」機能があります。就寝時や暗い場所で操作するとき目の疲れを軽減できます。また、時間を指定してナイトライトを設定することも可能です。

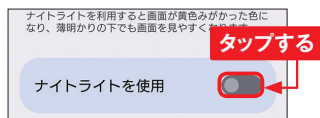


指定した時間にナイトライトを設定する

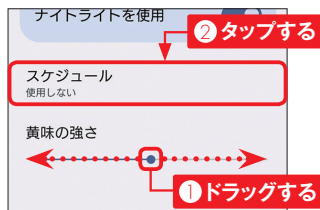
- ① アプリ画面で [設定] → [画面設定] の順にタップして、[ナイトライト] をタップします。



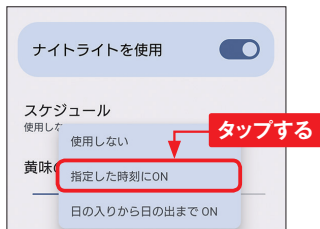
- ② [ナイトライトを使用] の をタップします。



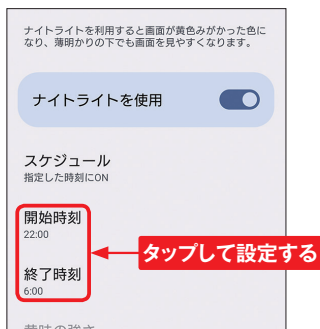
- ③ ナイトライトがオンになり、画面が黄色みがかった色になります。●を左右にドラッグして黄味の強さを調整したら、[スケジュール] をタップします。



- ④ [指定した時刻にON] をタップします。[使用しない] をタップすると、常にナイトライトがオンのままになります。

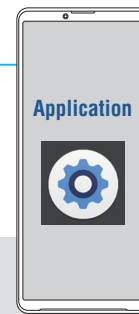


- ⑤ [開始時刻] と [終了時刻] をタップして設定すると、指定した時間のみ、ナイトライトがオンになります。



スクリーンショットを 撮る

表示中の画面はかんたんに撮影（スクリーンショット）できます。撮影できないものもありますが、重要な情報が表示されている画面は、スクリーンショットで残しておくくと便利です。



本体キーでスクリーンショットを撮影する

- ① 撮影したい画面を表示して、電源キーと音量キーの下側を同時に1秒以上押します。



- ② 画面が撮影され、左下にサムネイルが表示されます。●をタップすると切り抜きや色補正ができます。ここでは●をタップし、「フォト」アプリを起動します。



- ③ [ライブラリ] → [Screenshots] の順にタップし、撮影した画面をタップします。



- ④ 画面が表示され、画面内の文字の検索などができます。画面をタップして◀を何度かタップすると、ホーム画面に戻ります。



MEMO スクリーンショットの 保存場所

撮影したスクリーンショットは、本体メモリの「Pictures」フォルダ内の「Screenshots」フォルダに保存されます。